

JVCケンウッド 決算説明会資料

2016年(平成28年)3月期 第3四半期

株式会社JVCケンウッド

【資料中の略語】

AM オートモーティブ(分野)
 市販(事業)
 用品(事業)
 純正(事業)
 ASK : ASK Industries S.p.A.

PS パブリックサービス(分野)
 無線システム(事業)
 業務用システム(事業)
 ヘルスケア(事業)
 EFJT : EF Johnson Technologies, Inc.

MS メディアサービス(分野)
 メディア(事業)
 エンターテインメント(事業)

- 1. 2016年3月期 第3四半期決算概況**
- 2. 第3四半期決算の総括と
第4四半期以降の取り組み**
- 3. 2016年3月期 通期業績予想**

1. 2016年3月期 第3四半期決算概況

2. 第3四半期決算の総括と 第4四半期以降の取り組み

3. 2016年3月期 通期業績予想

2016年3月期 3Q決算(累計) サマリー

❖ 3Q累計で当社想定どおり営業黒字化

- 売上高 事業買収効果(約+127億円)などもあり、増収
- 営業利益 AM用品・純正の期初計画外の先行開発費増、為替変動の影響などから減益
- 経常利益 営業利益の減少、営業外損益の悪化により損失拡大
- 純利益 経常損益の悪化に加え繰延税金資産を計上した前期比で損失拡大も、関係会社売却損を計上した前期比で特損益改善

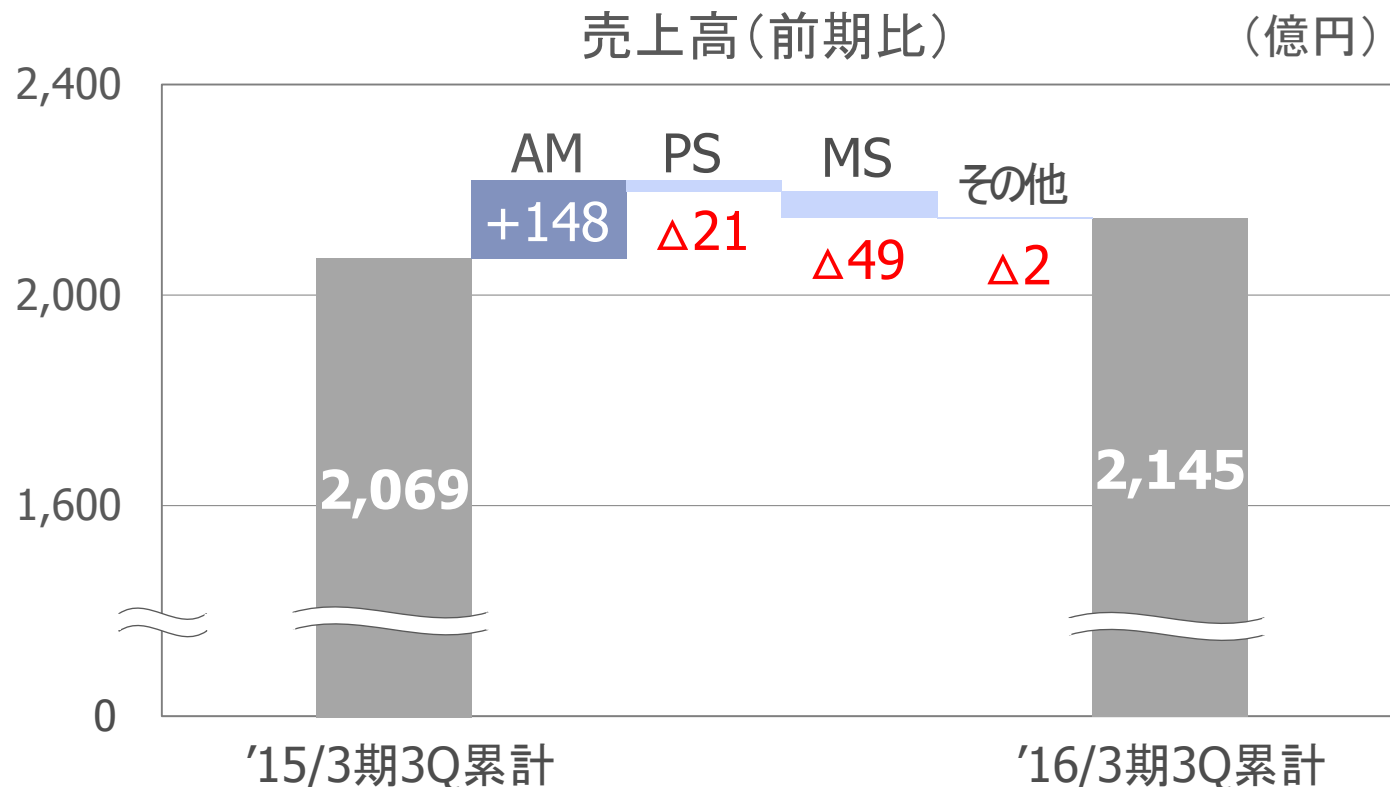
(億円)	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 四半期純利益
'16/3期 3Q累計	2,145	1	△24	△57
'15/3期 3Q累計	2,069	25	1	△7
前期比	+76	△23	△25	△50
'16/3期 3Q単独	752	11	7	△9

損益為替レート		1Q	2Q	3Q		1Q	2Q	3Q
'15/3期	米ドル ユーロ	約102円 約140円	約104円 約138円	約114円 約143円	'16/3期	約121円 約134円	約122円 約136円	約121円 約133円

2016年3月期 3Q決算(累計) 連結売上高(セグメント別)

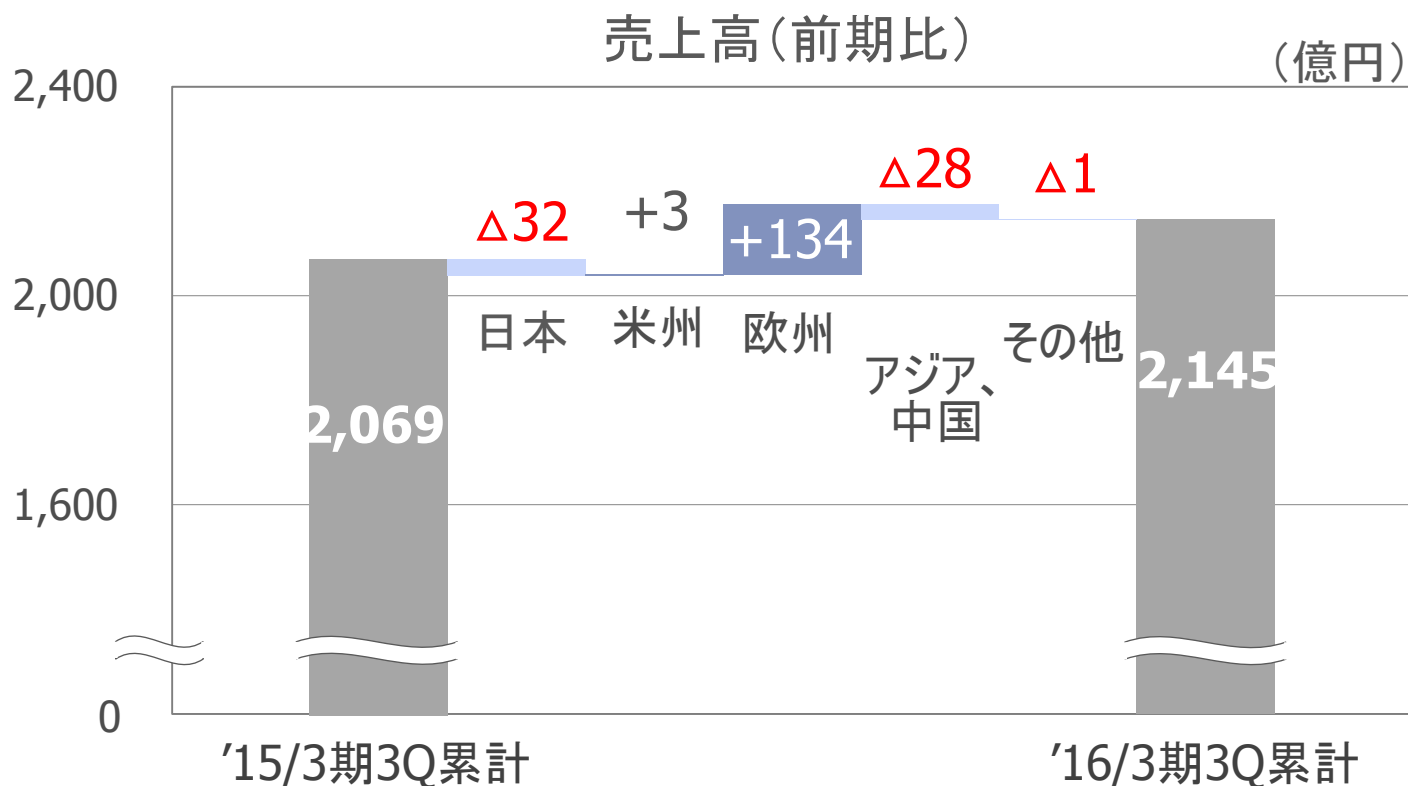
❖ 当期実績 2,145億円(前期比 +3.7%) [増収]

- AM 欧自動車メーカー向けが堅調なASKの子会社化効果により増収
- PS 米国無線子会社が回復も無線システム減収により減収
- MS テイチク全株式譲渡(平成27年4月28日)により減収



❖ 当期実績 2,145億円(前期比 +3.7%) [増収]

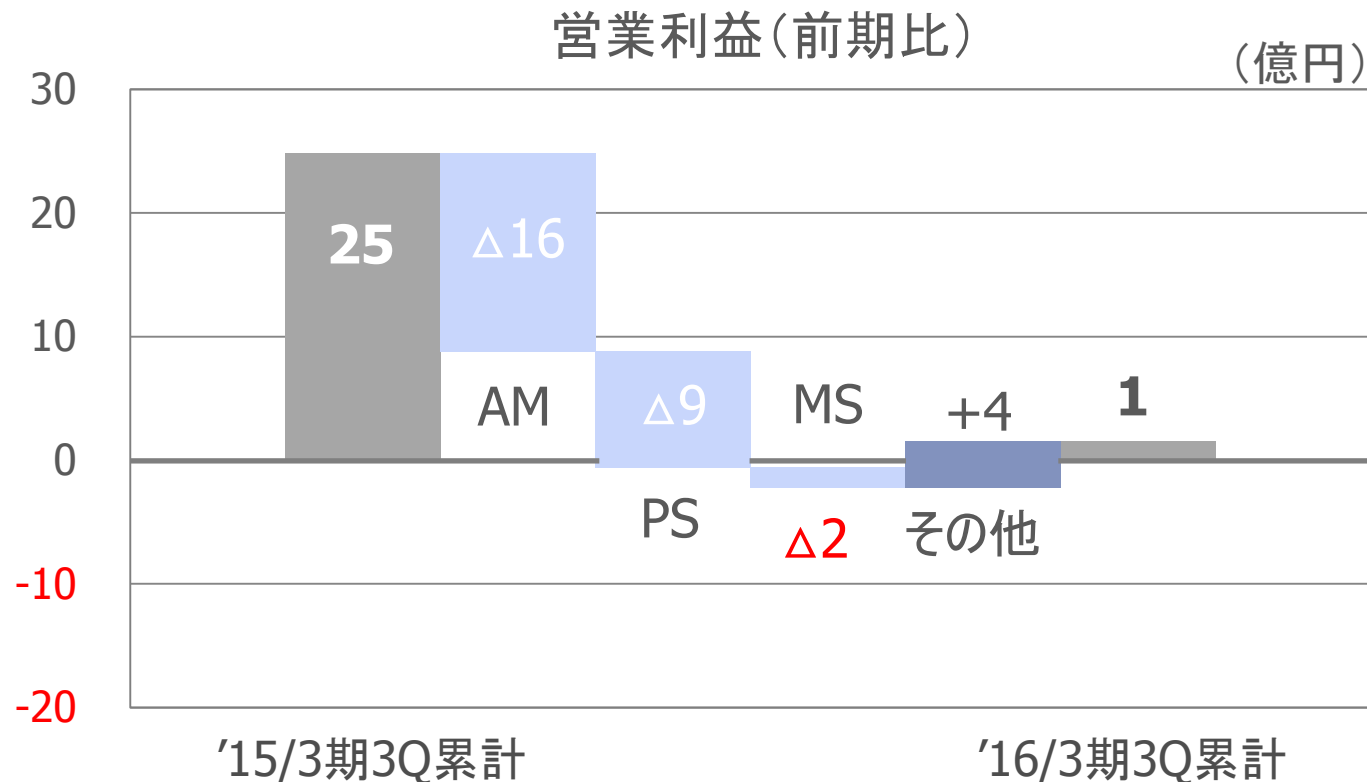
- 米州 AM市販の新製品投入効果、PS無線システムの米国無線子会社の改善などから増収
- 日本 ティチク全株式譲渡影響、純正販売減などから減収
- 欧州 ASK子会社化効果から増収
- アジア・中国 AM市販の中近東景気悪化影響などから減収



2016年3月期 3Q決算(累計) 連結営業利益(セグメント別)

❖ 当期実績 1億円(前期比 $\Delta 23$ 億円) [減益]

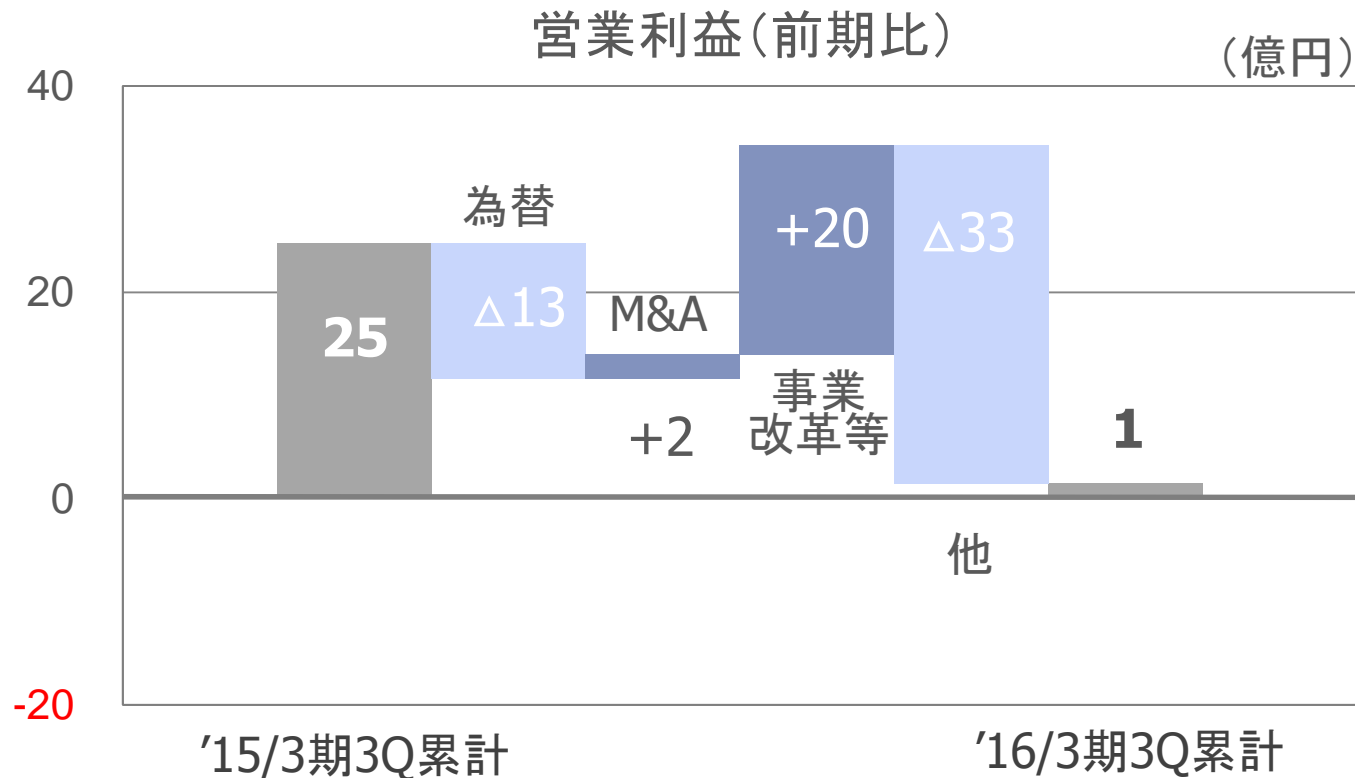
- AM 市販の中近東・欧州販売減や用品・純正の期初計画外の先行開発費増などから減益
- PS 業務用システムが増益も無線システムの減益などによりPS全体で減益



2016年3月期 3Q決算(累計) 連結営業利益(要因別)

❖ 為替影響やM&Aなど、期初より織込み済みの変動要因を除く悪化分は約△33億円

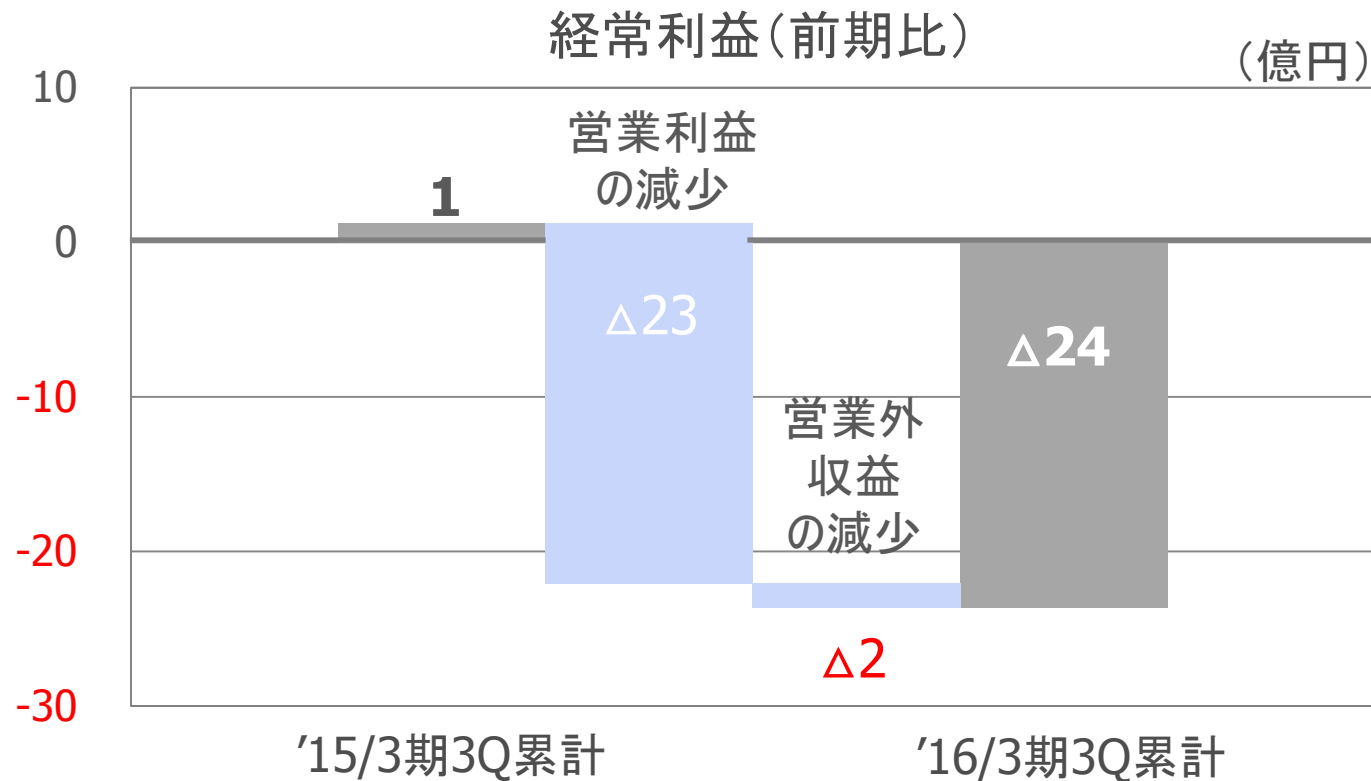
- AM用品・純正の開発費増と軽自動車市況低迷継続による影響
- PS無線システムの米国子会社含めた再編・改革途上による影響



2016年3月期 3Q決算(累計) 連結経常利益

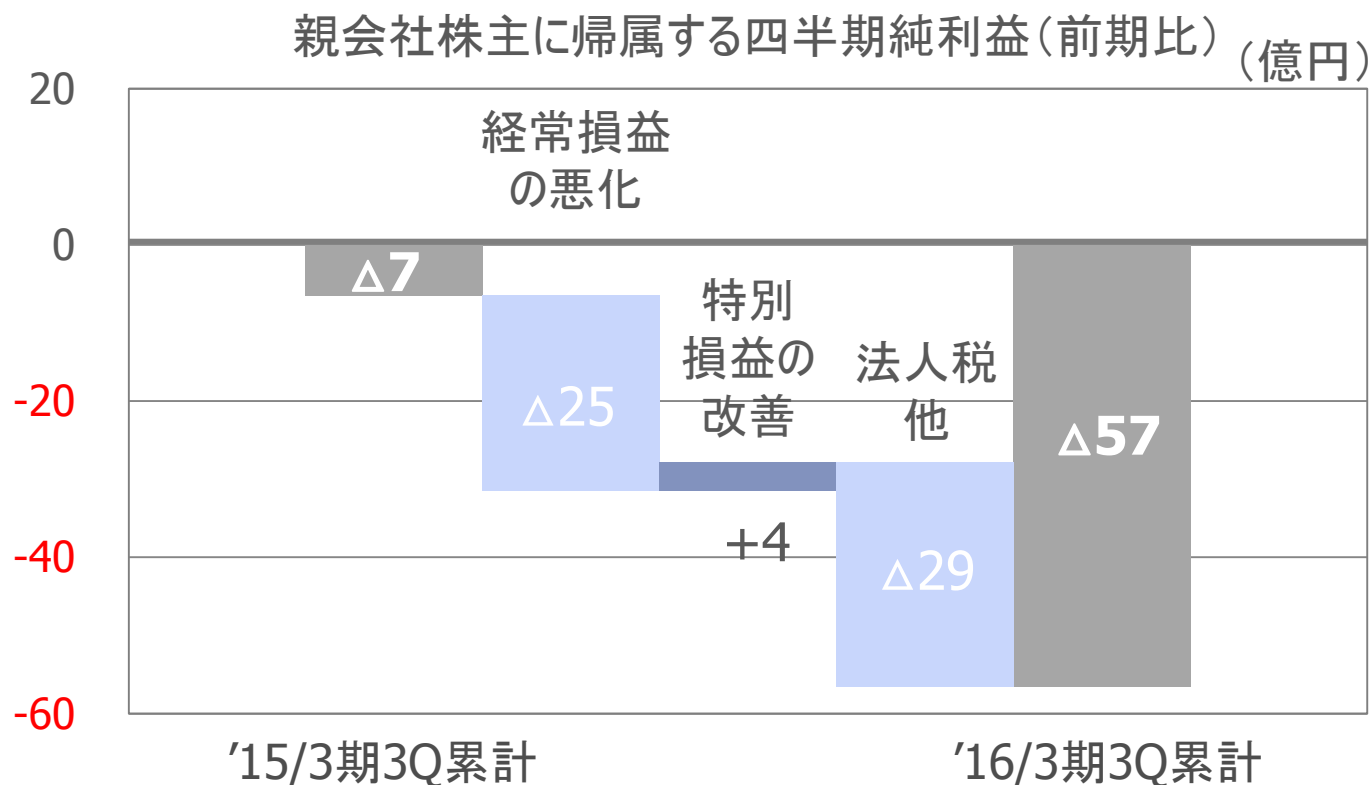
❖ 当期実績 $\Delta 24$ 億円(前期比 $\Delta 25$ 億円)

■ 主に営業利益減少により減益



❖ 当期実績 $\Delta 57$ 億円(前期比 $\Delta 50$ 億円)

- 経常損益の悪化と繰延税金資産を計上した前期比で損失拡大するも、関係会社売却損を計上した前期比で特別損益は改善



2016年3月期 3Q決算(累計) 貸借対照表サマリー

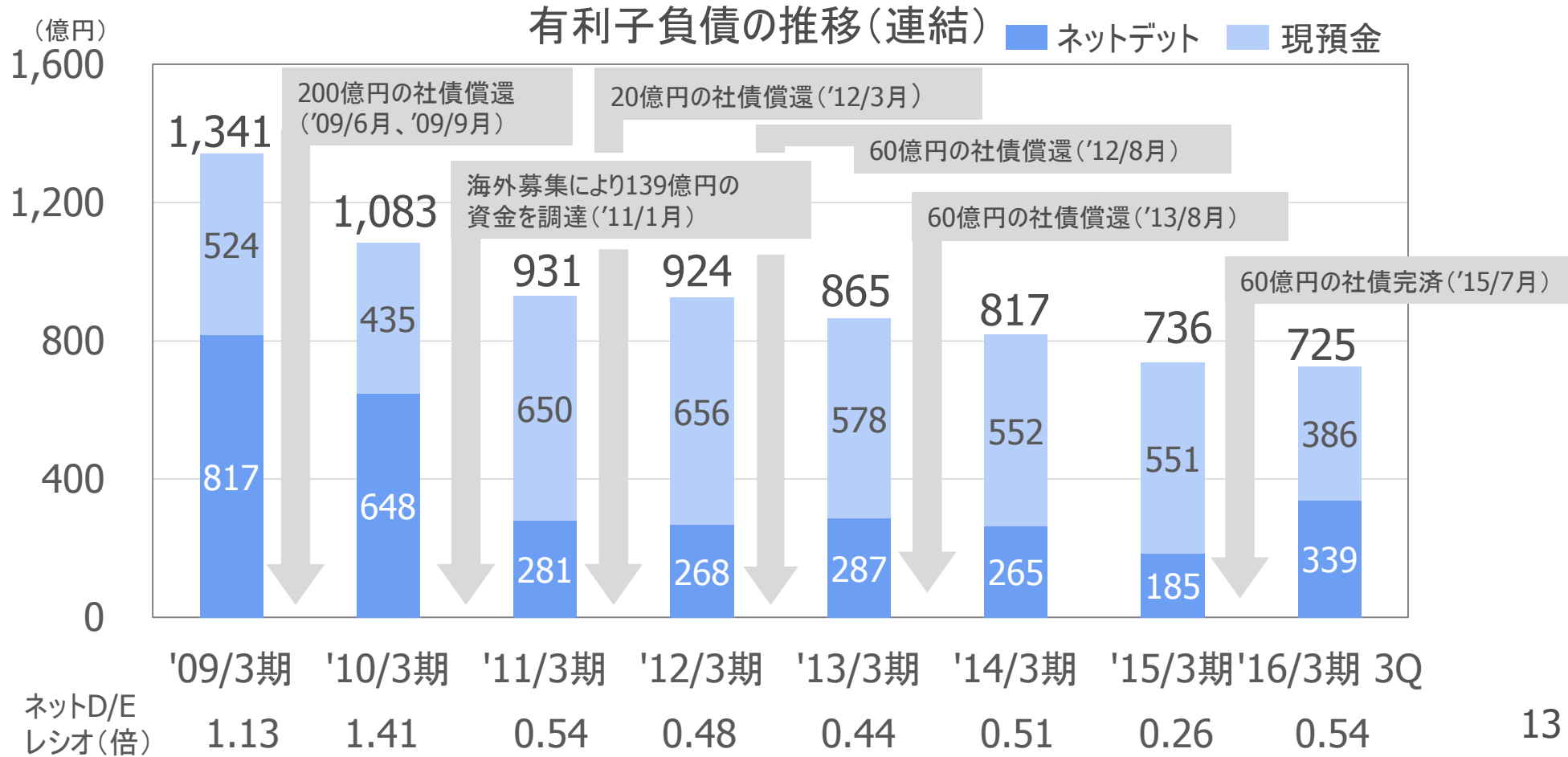
- ❖ 総資産 ASK子会社化により商品及び製品や有形固定資産が増加も、受取手形及び売掛金の減少、借入金の返済やASK株式取得・シンワ株式の追加取得の実施などから、現金及び預金が減少
- ❖ 有利子負債(借入金と社債の合計) 11億円減
- ❖ 自己資本比率 2.6%ポイント減少し、23.2%

(億円)

	'15/3期末	'16/3期 3Q末	前期末増減
総資産	2,787	2,715	△72
有利子負債	736	725	△11
ネットデット	185	339	+153
ネットD/Eレシオ(倍)	0.26	0.54	+0.28
資本剰余金	456	453	△3
利益剰余金	222	158	△64
純資産	792	689	△104
自己資本	718	629	△88
自己資本比率(%)	25.8	23.2	△2.6

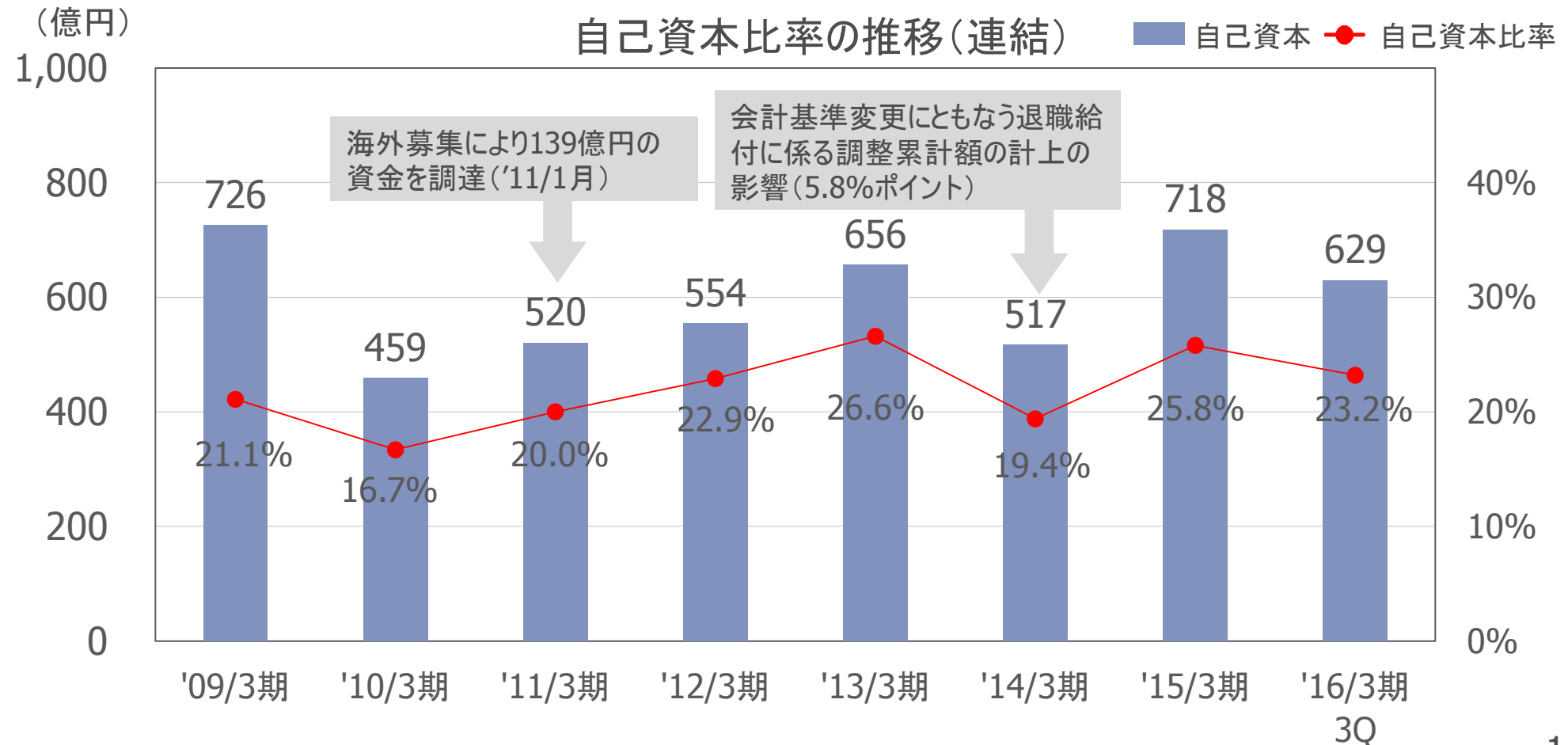
2016年3月期 3Q決算(累計) 有利子負債

- ❖ 社債償還を完了し、有利子負債は減少
- ❖ リファイナンス実施にて長短バランス改善。来期の金融費用半減を見込む
- ❖ 戦略投資(ASK子会社化)により現預金が減少し、ネットデット増加



2016年3月期 3Q決算(累計) 自己資本比率

- ❖ 利益剰余金の減少による株主資本減少、および為替換算調整勘定の減少などにより純資産が減少。自己資本比率は2.6%ポイント減少
- ❖ 通期では四半期純利益計上などにより自己資本比率改善を見込む



※ 2011年8月25日に発行した第1回新株予約権の全部について、2014年9月30日に無償で取得及び消却済み

2016年3月期 3Q決算(累計) キャッシュ・フローサマリー

- ❖ 営業キャッシュ・フローは増加したが、ASK子会社化に加え、有形固定資産及び無形固定資産の取得による支出が増加したことから、投資キャッシュ・フローが減少

(億円)

	'14/3期	'15/3期	'16/3期 3Q累計	参考値 '15/3期3Q累計
営業活動によるキャッシュ・フロー	149	86	62	48
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 107	△ 39	△ 114	△ 68
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 96	△ 75	△ 107	△ 87
フリー・キャッシュ・フロー	43	47	△ 52	△ 20

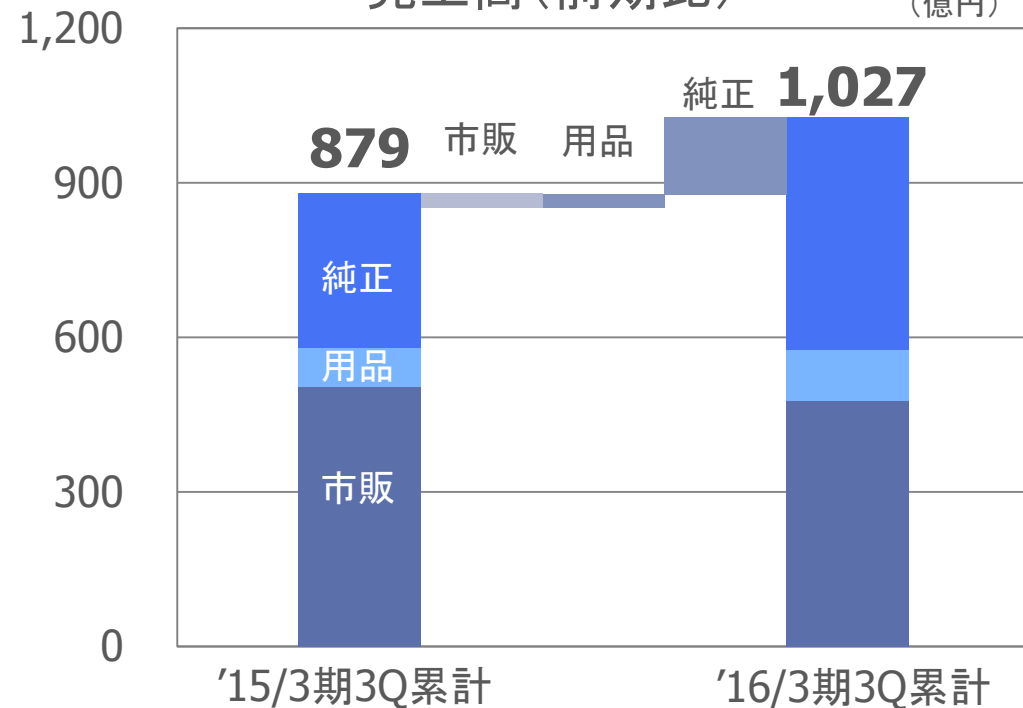
※ フリー・キャッシュ・フロー＝営業活動によるキャッシュ・フロー＋投資活動によるキャッシュ・フロー

(参考)分野別情報

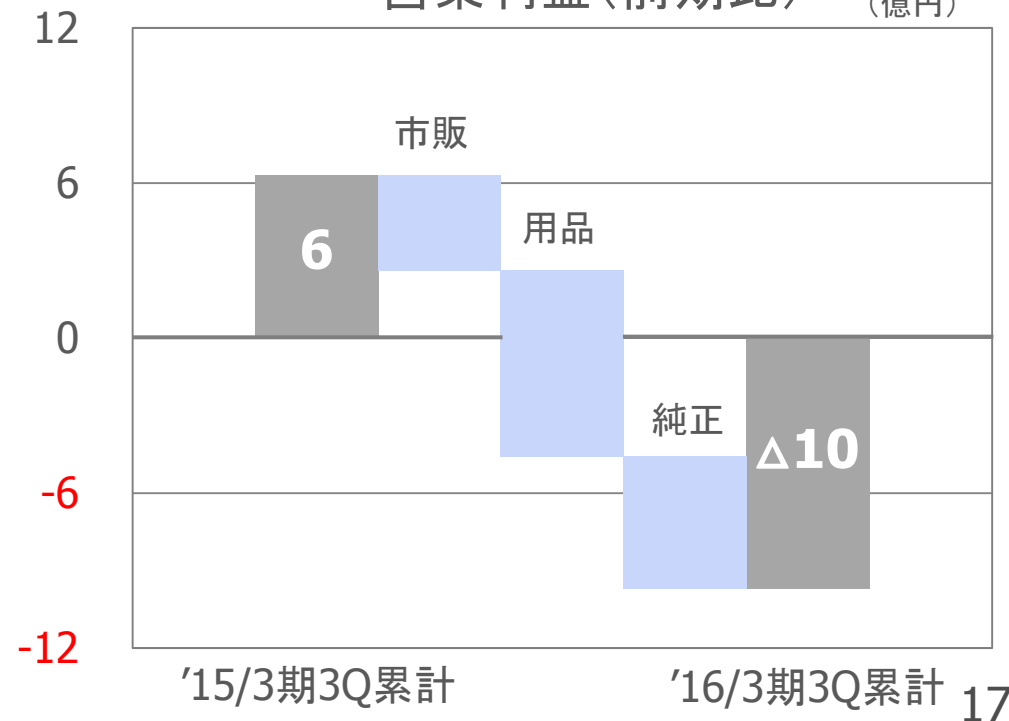
2016年3月期 3Q決算（累計） オートモーティブ

- ❖ 売上高 用品が新規顧客向け出荷開始、純正がASKの連結子会社化により増収
- ❖ 営業利益 市販は減収の影響で減益も、国内増益および欧州黒字化で10～12月期は増益。用品は先行開発費増などから減益。純正は次世代事業・新規受注獲得にともなう開発費増などから減益

売上高(前期比) (億円)



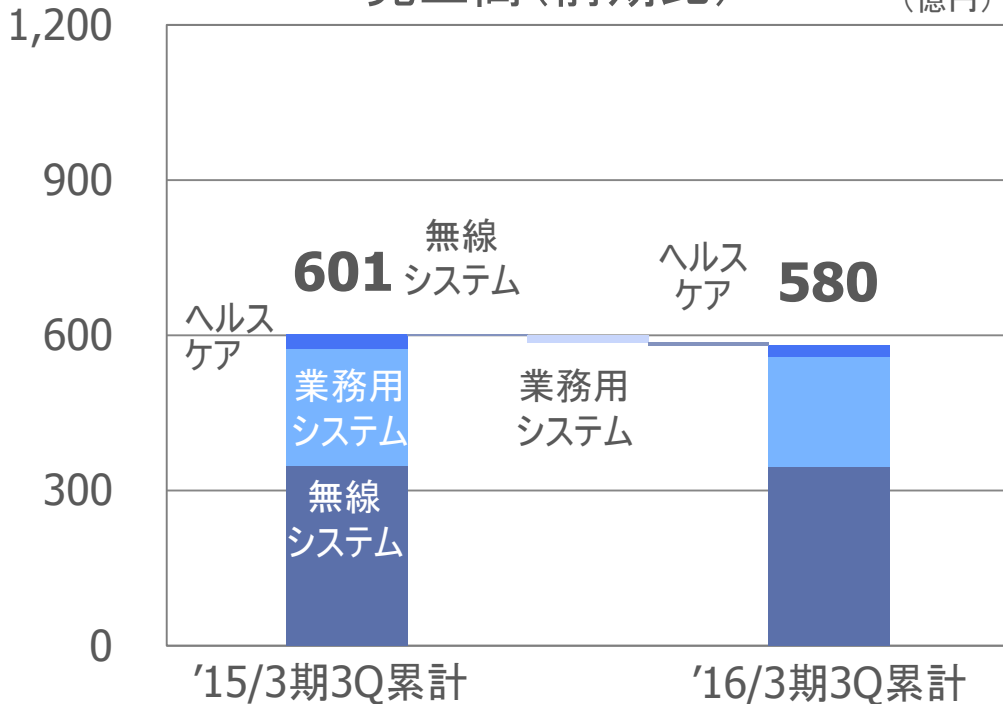
営業利益(前期比) (億円)



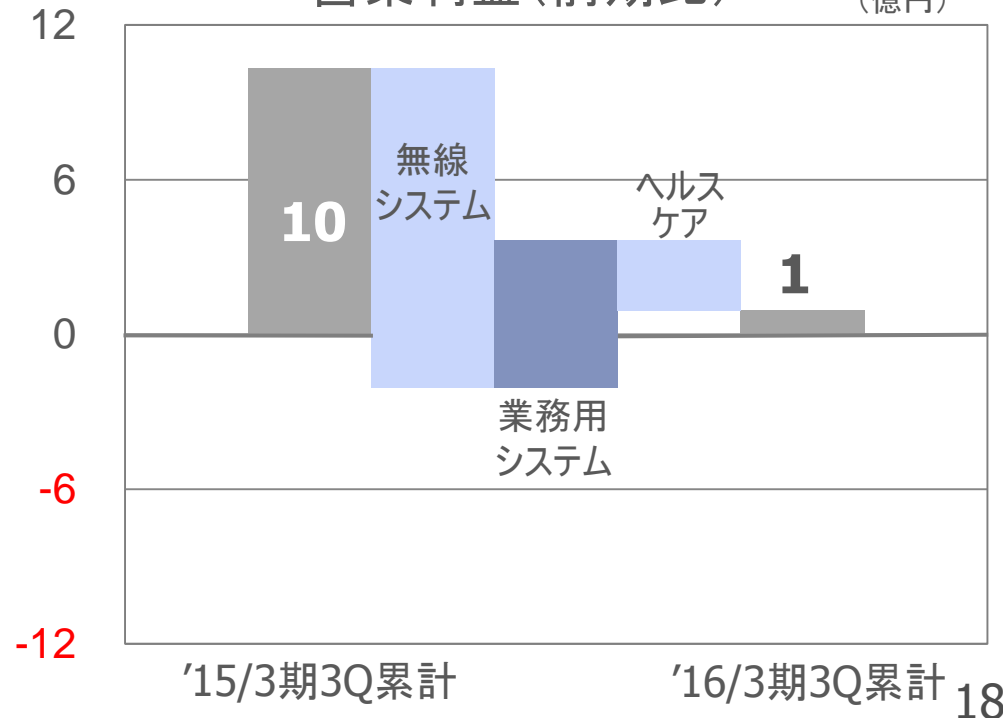
2016年3月期 3Q決算(累計) パブリックサービス

- ❖ 売上高 無線システムは業務用無線事業が減収、業務用システムも海外市場で商品ラインアップの絞り込みの影響などから減収
- ❖ 営業利益 米国無線子会社の業績回復あるも無線システムは減益。業務用システムは不採算の商品ラインアップ絞り込みで増益

売上高(前期比) (億円)



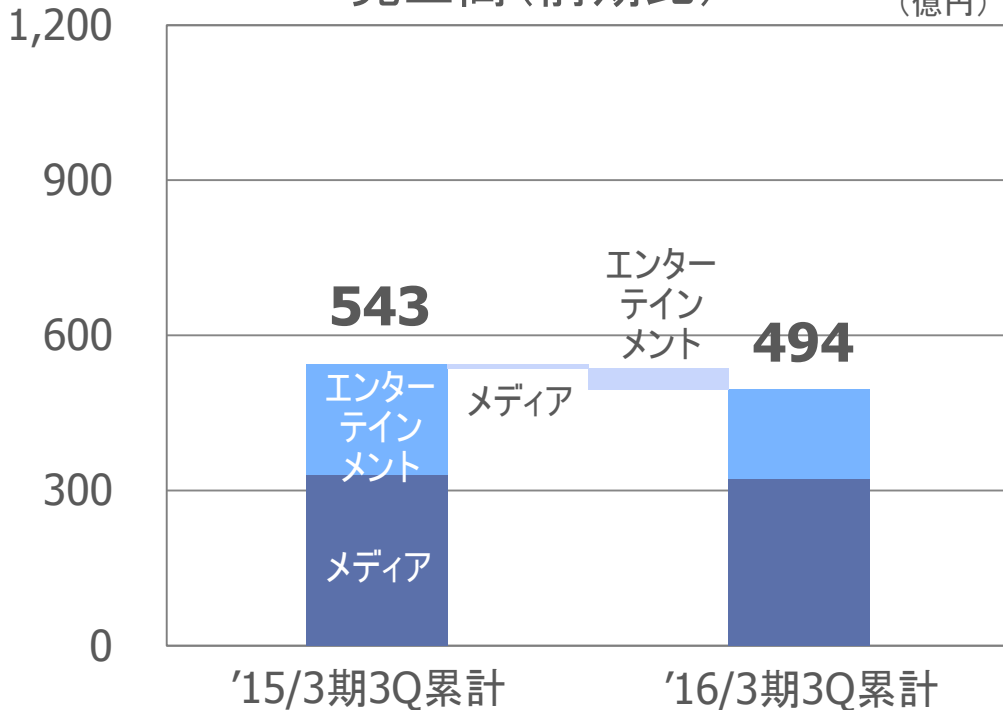
営業利益(前期比) (億円)



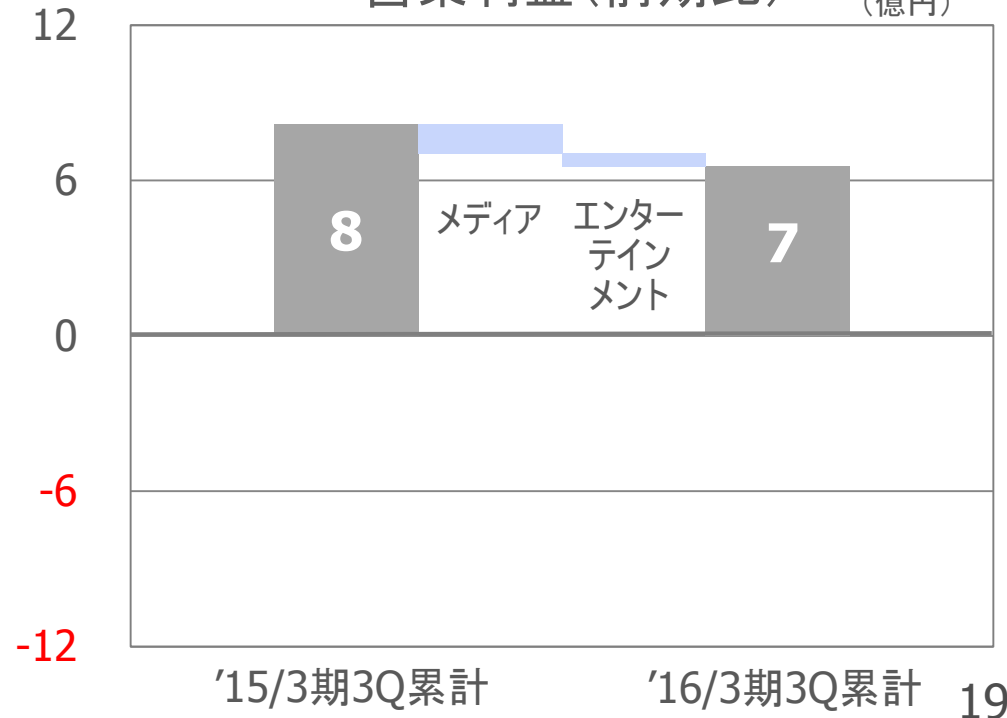
2016年3月期 3Q決算（累計） メディアサービス

- ❖ 売上高 メディアはプロカメラの販売減少などから減収
 エンターテインメントはテイチクの全株式譲渡の影響などから減収
- ❖ 営業利益 メディアは減収の影響で減益、エンターテインメントはテイチクの
 全株式譲渡の影響から減益

売上高(前期比) (億円)



営業利益(前期比) (億円)



1. 2016年3月期 第3四半期決算概況
2. 第3四半期決算の総括と
第4四半期以降の取り組み
3. 2016年3月期 通期業績予想

第3四半期決算(累計)の総括

❖ 成果

- 全社の営業利益は想定どおり黒字転換
- AM市販は国内ナビおよび米ディスプレイオーディオ、オーディオが好調
- AM純正は欧自動車メーカー向けが堅調なASKと、中国国内自動車メーカー向けが堅調なシンワがともに想定以上に推移
- 米国無線子会社の業績が上向き(10~12月期子会社単体黒字化)

❖ 課題

- AM用品・純正における開発費増への対応、原価低減
- PS無線システムにおける商品・販売戦略の再構築への対応

第4四半期の取り組み

＜大幅な売上拡大・利益増への取り組み＞

❖ AM市販

- 「CES 2016」で発表したApple CarPlay対応ナビ新商品など、ナビ、ディスプレイオーディオのフルモデルチェンジによる販売の最大化

❖ PS無線システム

- 12月に導入開始した普及型デジタル無線機の導入本格化
- 2Q末に実施した販売体制再構築による米国ディーラー網での公共安全市場向けデジタル無線機(P25)の拡販
- 民間向けデジタル(NEXEDGE)第2世代ネットワークシステム本格導入などによる新規大型案件獲得
- 米最大商戦機である無線展示会IWCE(3月)での販売最大化

❖ MSIエンターテインメント

- 有カアーティストの大型作品発売など

AM分野における取り組み

❖ 革新的なデジタルコックピットシステムの開発

■ 「CES 2016」で新しいコンセプトモデルを発表・展示

- 走行中の視線移動を最小限に抑えるため、当社が保有する各種コア技術を生かしたAll in One Head Up Displayを搭載

■ 実用車への搭載・普及を通じ、安全・安心な車社会へ貢献

- 2017年度から量産化へ



「McLaren 675LT」をベースとしたショーカー



電子ミラー

ヘッドアップディスプレイ

All in One Head Up Displayを採用したデジタルコックピットシステム 23

AM分野における取り組み

❖ カーナビ最大手Garmin社との協業10周年

■ 市販市場でのさらなる競争力の強化

- Apple CarPlayやAndroid Autoへの対応で、快適な操作性と高いエンターテインメント空間を提供

■ 信頼性と多言語対応を生かして純正・用品事業へ展開

- デジタルコックピットシステムとの融合で自動車メーカーへ提案



Apple CarPlayやAndroid Autoに対応した
海外向け2016年モデル「DNX893S」



10周年記念ロゴ

1. 2016年3月期 第2四半期決算概況

**2. 第3四半期決算の総括と
第4四半期以降の取り組み**

3. 2016年3月期 通期業績予想

2016年3月期 通期業績予想

❖ 業績予想は据え置く

- AM市販の国内販売が上半期同様好調に推移したことに加え、PS米国無線子会社の業績回復などから当第3四半期連結累計期間で黒字を確保
- 第4四半期連結期間はAM市販の新商品導入による販売の最大化、PS無線システムの再構築施策の推進に加え、米国無線子会社の着実な業績回復などが想定どおり発現する見込み

(億円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する 当期純利益
'16/3期予想 (2015年10月30日発表)	2,950	45	10	15
'15/3期	2,850	66	32	47

※ 2016年3月期想定為替レート 米ドル:120円、ユーロ:128円
2015年3月期実績為替レート 米ドル:110円、ユーロ:139円

JVC KENWOOD

creates excitement & peace of mind

このプレゼンテーション資料に記載されている記述のうち、将来を推定する表現については、将来見通しに関する記述に該当します。これら将来見通しに関する記述は、既知または未知のリスク及び不確実性並びにその他の要因が内在しており、実際の業績とは大幅に異なる結果をもたらす恐れがあります。これらの記述は本プレゼンテーション資料発行時点のものであり、経済情勢や市場環境によって当社の業績に影響がある場合、将来予想に関する記述を更新して公表する義務を負うものではありません。実際の業績に対し影響を与えうるリスクや不確実な要素としては、(1)主要市場(日本、米州、欧州及びアジアなど)の経済状況及び製品需給の急激な変動、(2)国内外の主要市場における貿易規制等各種規制、(3)ドル、ユーロ等の対円為替相場の大幅な変動、(4)資本市場における相場の大幅な変動、(5)急激な技術変化等による社会インフラの変動、などがあります。ただし、業績に影響を与えうる要素としてはこれらに限るものではありません。